

## 「やった、当たった!」と大はしゃぎ

—— 子どもはやっぱり、祭りが大好き ——



夏まつりポスターの応募作品から



7月28日（土）夕方から緑ヶ丘本町運動公園において、緑ヶ丘本町青年会・児童福祉会共催の子ども夏祭りが行われました。

この夏祭りは25年以上も前から続いており、開始当時は青年会が揃いのハッピーを作ったり、手作りの焼きごしを担いだりと、祭りの雰囲気を感じ上げ、随分と賑わっていたそうです。

今年も青年会は定番のカキ氷や綿菓子に加え、焼き鳥、豆腐ドーナツなどを販売、遊びコーナーではスーパーボールすくい、金魚すくい、くじ引きなどを催し、また児童福祉会はカレーライス、フランクフルト、チキンナゲットなどの販売の他、会員や有志の不用品提供によるバザーも行いました。また数年前からは子どもたちにもゲートボールの楽しさを知ってもらおうと、緑ヶ丘本町ゲートボールチームによる「ゲート通し」というゲームで競い合い、参加賞が配られました。参加者は約180人でゆかた姿の女の子や「当たった!」とおもちゃの箱を抱えている男の子、またおじいちゃん、おばあちゃんの参加も多く見られ、最後には恒例のピンゴゲームを全員で楽しみ、打ち上げ花火でお開きとなりました。

青年会によれば、緑ヶ丘本町の夏の風物詩とも言うべき「ごとも祭り」も最近は地域の子どもの数が減り、青年会への参加者も少なくなってきた影響で存続が難しくなってきたということです。「地域ぐるみで子を育てる」という考え方を理解し、これからの若い人たちの参加を心から期待していますというお話でした。

# 役員構成

役職・役員名(所属団体組織名)

会長 自洽会 (緑ヶ丘西町) 東部老人クラブ 会	今高 一三 花本 信雄	代表理事 (城北) (緑ヶ丘東)	中井 猛 吉藤 弘	体育指導員 代表理事 健康福祉部長 環境保全部長 文化部長 教育文化部長 交通安全部長 防災安全推進部長 人権推進部長 産業振興部長	福本 紀昭 湯矢 澄子 平井 つゆ子 中村 盛生 宮田 淳 川村 真二 藤森 之男
副会長 健康の職長会 " 小中学校代表 会 計 (緑ヶ丘本町) 佐藤 包治 理事 (自洽会) (上野赤坂) 森 永喜 丈 杉本 秀行 阿波 弘康 山口 義美 房川 忠郎 三谷 逸男 松村 進	代表理事 (緑ヶ丘南1) (緑ヶ丘南2) (上野田端)	松裏 伊三男 石橋 美弘 増井 潔史	代表理事 民生委員代表 文化サークル代 代表理事 中部北分団長 環境美化代表	代表理事 代表理事 代表理事 代表理事 代表理事	米井 俊祐 辻井 眞理子 福森 博 田山 干城

# 東部地域住民自治協議会部会構成表

<p>1. 総務広報部会</p> <p>◎ 杉大 奥田 中服花 福前 森 藪 本島田 中島部 本森 野永 中 秀紗 慈 克孝 公 秋喜 規 美孝良 繁子 博次 文満</p> <p>11名</p>	<p>2. 健康福祉部会</p> <p>◎ 湯福 佐高中 中西 服藤 幹南 宮富 森山 矢垣 竹橋 井森 岡部 田田 出口 田本 口 澄寿 共 邦日 良 千 里百 延 麻美 義</p> <p>15名</p>	<p>3. 環境保全部会</p> <p>◎ 井田 竹山 山口 本 辺川 岡原 永 平北 小田 中西 花浜 房松 松森</p> <p>12名</p>	<p>4. 教育文化スポーツ部会</p> <p>◎ 中今 大北 田中 福福 福福 福古 松町 村岡 平田 中野 井永 永村 本屋 村井 盛真 弘 伸真 伸健 好教 紀順 義 伊賀市 緑ヶ丘 本町一 六八一—一八</p> <p>14名</p>	<p>5. 防災防犯交通安全部会</p> <p>◎ 宮阿 幸小 小佐 洪城 高辻 野福 藤藤 増三 安 伊賀市市街地東部地区にある東部地域住 民自治協議会のシンボルとしてのマークを 募集し、イベント実施時や各種パンフレッ ト、会議案内・レジュメ等にも使用します。 募集締め切り 平成19年9月11日まで 応募先・問い合わせ 伊賀市 緑ヶ丘 本町一 六八一—一八 東部地区市民センター内 東部地域住民 自治協議会 ☎二四一三九九九 応募作品の裏に作品の意図、氏名、住所 〒番号、電話番号、男女別、年齢を明記 のこと。 審査及び発表 東部地域住民自治協議会役員会で審査し、 入賞者の方に連絡します。</p> <p>17名</p>
<p>6. 人権啓発部会</p> <p>◎ 川岡 小釜 寺中 中早 藤前 前松 三吉 木 村本 曾井 山井 野瀬 井澤 澤 裏 谷 藤 井 真史 さ 恵 範 智 智 智 智 智 智 智 智 智 智 真史 さ 恵 範 智 智 智 智 智 智 智 智 智 智 二子 り子 茂 猛子 子久 男 一 男 也 弘 祐</p> <p>15名</p>	<p>7. 産業振興部会</p> <p>◎ 藤阿 石 今 大 奥 北 熊 曾 藤 田 林 本 横 柳 森 波 橋 井 北 田 川 井 部 野 中 村 尾 島 の 之 弘 美 康 武 茂 義 佳 琴 秀 幸 芳 正</p> <p>◎ 〃部会長 総数99名</p> <p>15名</p>			

# 実行委員会(部会)の活動報告

## 人権啓発部会

平成18年度は、大阪人権センターに部会員で見学に行き、人権について学びました。また三重大学助教授寺川史郎氏の「憲法9条と人権について」の講演会や、桂三登さんによる「人権落語」を開催し、どちらも多くの皆さんに参加を頂きました。人権落語では「差別は人と人とのコミュニケーションの無さから生まれてくる」との話を皆さん聞いておられました。

平成19年度は外国の方との交流を目的とした「東部 世界の文化探検隊」事業を中心に、以下の事業に取り組みます。どれも楽しい事業にして行きたいと思いますので、たくさんの皆さんのご参加をお待ちしています。

### 「平成19年度計画」

- 人権啓発講演会
- 人権啓発草の根運動の推進
- 人権啓発ミニ集会
- 東部 世界の文化探検隊(伊賀市地域活動支援事業に応募し、第4位で採用されました。)

現在、東部地域には人口約1万2,000人の約1割にあたる1,200人以上の外国の方が住んでいます。そこで、東部地域にある外国のお店を訪問して店主さんとお話を聞いたり、外国籍での音楽バンドで音楽交流会などを開催したりして、外国の方ともコミュニケーションを深めてみましょう。写真は、ご協力いただく予定のタイ料理店(左)と中国物産店(右)前で店主さんと人権啓発部 部会長です。



## 防犯防災交通安全部会

消火・放水・避難・救出・救護など

### 10月6日 自主防災訓練を実施します

#### 地震体験車「おおゆれくん」による 地震体験もできるよ

災害から「自分たちの住む町は住民自ら守る」という考え方を共有し定着させたいとの考え方にたつて防災訓練を計画しました。

9時30分から  
平野西町白鳳通り(パーティールーム裏)

どうか多くのみなさんの参加で自主防災の意識向上と災害が起こった時の迅速な対応のしかたなど身をもって体験しておきましょう。

## 産業振興部会

計画立案の過程で、プラントーに花を植え、歩道を飾ったらというアイデアもありましたが、昨年度も好評であった新鮮市を今年も実施することとしました。

5月から計画を練り始め、紆余曲折。ほぼ昨年どおりの出展を見込んでいますが、先着二百名様までに提供する豚汁は今年も無料です。

### 新鮮市

### 10月28日(日)

午前10時から上野東小学校にて

### 研修、視察

18年度最後の行事として3月10日、嬉野町社会福祉センターで行われている、特定高齢者を対象とした、健康教室を視察。そのプログラムの中の、平岡健康研究所長、平岡先生が指導されている「運動機能向上」の教室で、高齢受講者の方と一緒に部会員も実技に参加させて頂きました。

ストレッチ（筋肉が硬くならない運動）で、体を動かしながら、「ハイ！息を吸って！吐いて！」これは心臓、肺の機能がとても良くなるそうです。「黙ってれば、息を止めた状態ですよ。」魔法の言葉に操られる様に、イチ！ニイ！とリズムよくすすめられました。そして、ボールや椅子を使って動かす目的の基本を学び、大きな声を出して熱心に頑張っておられる高齢者の方から逆に元気をもらい、気持ちよく全身を解すことが出来ました。



終了後の座談会で、健康は自分で作っていくという考え方で、自分の体と対話をしながらゆっくり整え、毎日少しずつの積み重ねが大きな健康につながるのです。嫌でも、季節が巡ってくれば一つ加齢、その為には、やる気の「気」が大事だとの言葉が印象深く残りました。その気になってもらうには、どうすればよいのかが、帰路の話題となりました。

### 「マメで達者で」と「まめの館」で研修

－7月5日、島ヶ原やぶっちゃんの湯（健康づくり棟「まめの館」）へ－

今年度は、新しい部員さんを迎えたこともあって親睦を兼ね早めの研修、視察となりました。

☆健康な人がストレッチ、プッシュアップ（ボール、ダンベルを使って筋肉を引き締める）を実際に体験し、「やった！」という感じの汗をかきました。

☆温水プールは、歩行専用で、水の浮力を利用して体をほぐし、道具を使って水中体操などすることができます。健康な人も、健康を目指す人もそれぞれの目標でがんばっていました。指導員のお話では、介護予防、健康増進の初心者教室を行っているとのこと。

今回の研修、視察では、今後の活動へのつながりと元気の元を養うことができたと思っています。比較的近場の施設ですので、みなさんも一度試してみてください。

熊野古道遠足…10月20日（土）に熊野古道へ。コースはこれから決めますが、古（いにしえ）の人たちが汗して歩いた同じ道を歩いてみませんか。

一人暮らしのお年寄り宅を訪問します。…2月から3月頃に実施予定です。

## 「緑ヶ丘地誌」(仮称)編纂作業急ピッチ

「緑ヶ丘地誌」(仮称)を20年3月発行めざして5人の編纂委員でがんばっています。これまで7回の編纂委員会を開きました。時代を明治以前、明治から終戦、その後急速に開けた緑ヶ丘地域の都市化、と大きく三つに分け執筆中です。

年表は、たとえば「明治8年通称野島一帯の原野を上野村に編入、北上野村に対し、南上野村と呼称」「昭和32年上野市緑ヶ丘誕生」「昭和42年緑ヶ丘を5町に区分」。また、「海軍伊賀上野航空基地」「金善池」等、項目にしたがって興味ある内容に工夫されています。どうぞ、ご期待ください。

なお、緑ヶ丘に関係する古い写真があればご提供ください。編集の参考にさせていただきます。できれば今年10月までに東部市民センターへお届け願います。

【編纂委員紹介】 あいうえお順 敬称略

奥 友親 緑ヶ丘本町 北出楯夫 小田町 田畑孝一 緑ヶ丘南町  
◎広出良夫 緑ヶ丘南町 福井健二 生疏里 ◎=委員長



ウォークラリーは11月、スポーツ大会は3月に

○ウォークラリー 11月3日(土・祝)

○スポーツ大会 3月22日(土)、3月23日(日)

いずれも期日近くになったら部会からご案内します。また、年齢に関係なく、そして、同好会等のクラブに加入していなくても参加できますので、多数の参加をお待ちしています。

## 環境保全部会

## EMでエコロジー



EM米のとき汁発酵液が置かれています。まず、お試し下さい。

東部公民館の玄関口に、館長提供のEM米のとき汁発酵液が置かれています。まず、お試し下さい。

環境にやさしいこのようなものを生活に役立てていき、輪を広げていければいいと思います。

このほか、入浴時にEM発酵液を入れるとカラダの芯まで温まる、洗濯機に洗濯物をつけておくとか襟や袖口の下ごれもスッキリとなるなど多面的利用できます。

「早速、家で堆肥を作りました。毎年黒豆を作っていますが、昨年以上の出来を楽しみにしています。」

もう一つ、お米のとき汁発酵液作りを実践しました。食器洗いや、お風呂のカビ防止、トイレの清掃、窓拭きに利用したところとてもきれいになりました。

「早速、家で堆肥を作りました。毎年黒豆を作っていますが、昨年以上の出来を楽しみにしています。」

また、生活排水の中で最も川の汚れる原因のひとつは、米のとき汁です。米のとき汁を捨てずに、EM発酵液を作れば、いろんな場面で活用できます。それは、ある参加者が後日談を寄せてくれましたので、ここに紹介します。

「早速、家で堆肥を作りました。毎年黒豆を作っていますが、昨年以上の出来を楽しみにしています。」

また、生活排水の中で最も川の汚れる原因のひとつは、米のとき汁です。米のとき汁を捨てずに、EM発酵液を作れば、いろんな場面で活用できます。それは、ある参加者が後日談を寄せてくれましたので、ここに紹介します。

「早速、家で堆肥を作りました。毎年黒豆を作っていますが、昨年以上の出来を楽しみにしています。」

また、生活排水の中で最も川の汚れる原因のひとつは、米のとき汁です。米のとき汁を捨てずに、EM発酵液を作れば、いろんな場面で活用できます。それは、ある参加者が後日談を寄せてくれましたので、ここに紹介します。

環境講座「生ゴミの堆肥化教室」を実施して





民生児童委員を努めて12年、いまもがんばりつづけている上野伊予町の横尾芳郎さんが立ち上げたコミュニティホール“五十路”を訪問しました。

70歳を前にした横尾さんは、生きいきとしている人を見るたびに「誰もが趣味を生かして余生を楽しみ、同時にその人の輪をもっと広げられたら」と、そんな夢を現実にする構想を練りはじめたのは昨年の上野祭の日でした。

夢は大きくとも、なにをしていくかと思案しながら無二の友人に相談するなかで、カラオケも備えて気軽にくつろげる私設のコミュニティホールをつくったらと一念発起。私財を投入して多くの老若男女が集まってもらえるものが出来上がったのは1月でした。

丁度、取材で訪ねた日は、“美しく生きる会”のみなさんがカラオケに興じていました。この会は、70歳以上の集まりで80人以上のメンバーがいるそうで、「戦前、ご苦労なされた方々が朗らかに、健康に、心豊かに…」との思いでつくられたと会長の沢山正治さんが話してくれました。

まさに横尾さんと合い通じるものがあるように思います。

自ら経営する製材所の倉庫を大改造し、音響効果もバツグンといった工夫、また、おしゃべりや食事会、ダンスもと多目的に利用できる考え抜かれた設備が施されています。

椅子席が65名分、テーブルも15卓。広いフロアを目的によってレイアウトして使用できます。「どうぞお気軽に利用してください」と横尾さんは言葉を結んでくれました。

7月10日現在、個人会員60名、28グループが登録され利用されています。

利用方法など詳しくは下記へお問い合わせください。

主宰 横尾芳郎 上野伊予町（しろはと幼稚園南）

五十路 連絡先 TEL21-0062

※利用時間は、9時～21時、定休日は毎月曜日



## 編集後記

三年目の最初の号を発行する取り組みの中で、自治協議会以外の催しや取り組みの多さに驚かされています。

今後は、そんな点にも触れたい、ほんの一部ですが紹介しました。

話は変わりますが、いま、天神さんから車坂町の常夜灯のあたりまで、十月六日～二十八日を予定した、「伊賀・大和街道 灯りの芭蕉路」実行委員会による企画がすすめられつつあります。

「わたしも何ができるか」  
「こんなアイデアとやろが」と実行委員会に結集していくという、住民による参加型の催しです。

実行委員のMさんは、「いつときの行事として終わらせるのではなく、後々につながるものにしてほしいねん」と話していました。ここにまちづくり、まちおこしの原点を垣間見ました。

あらためて「かぐや姫」の思いを強くしつつ。